

第6回

新富町の新たな力に!

地域おこし協力隊通信

隊員2人でつくった

メキシカンとワインのお店



昨年末、町内に開業した「ナナブノニ」。メキシカンとワインを主力商品に置いた同店は、地域おこし協力隊の河野さん(一丁田地区出身)と本武さん(新町地区出身)が営んでいます。各々、高校を卒業して上京し、都内で就職。社会人経験を数年積んだ後に昨春からリターンで協力隊に就任しました。



〒889-1411 宮崎県児湯郡新富町富田2-43
営業時間 ①11:30-13:30 ②17:30-23:00
③11:30-13:30/17:30-23:00 ※その他定休

「二」のフードメニューの開発や調理は河野さんの担当です。また、健全な経営を目指した営業計画も、河野さん主導で取り組んでいます。一方の本武さんは、ワインの輸入会社に就職。ワイン販売をはじめ、同社直営のバーで責任者になるなど、ワイン業界で実績を積みました。この経験を生かし、店に置くワイン選びからドリンクメニューの開発・提供までをすべて担当しています。

今後は飲食店として軌道にのせることはもちろん、新富町にワイン文化を広めるほか、0次会として立ち寄ってもらい立ち飲みで1杯!という習慣を浸透させることも目指しているそうです。

夫婦揃って移住を決めた

新婚隊員の挑戦とは?!

二川さんと竹内さんが初めて新富町を訪れた時は、まだ交際中で初々しく、2人の馴れ初めを居酒屋「ミッチー」で聞いたことをよく覚えています。昨年9月、新富町の地域おこし協力隊として正式に着任し、10月に入籍。新富町で晴れて夫婦となりました。

肝心の協力隊活動内容はどうと、奥さんの二川さんは役場の総務課に配属。編集業の経験を生かし、広報誌の制作を担当しています。特集内容の企画立案から取

材、撮影、執筆などすべてを担当。4月の広報誌リニョーアルを控え、奔走中だそうです。

一方、旦那さんの竹内さんは塾講師の経験をもとに、ルビーモール商店街の一角で小学生を対象にプログラミング教室を運営しています。そのほか、地元の教育機関と連携し、キャリア教育などの授業支援を通じて、子どもたちのチャレンジを応援しています。縁もゆかりもない地への移住ですが、自然豊かで人も気候も温かい新富町は、2人にとって非常に住み心地の良い場所だそうです。夫婦の挑戦はまだ続きます。



たけうち やすひろ
竹内庸公さん

1992年、岡山県生まれ横浜育ち。教育分野への関心が高く、大学卒業後は島根に拠点を移し、こども教育支援を行うNPO法人に所属。1年間キャリア教育の支援活動に関わった後、横浜で塾講師に。昨年9月より地域おこし協力隊に就任し、現在は町内の子どもたちのチャレンジを応援中。

ふたがわ ちなみ
二川智南美さん

1991年、群馬県生まれ。東京で歴史系の雑誌・書籍を制作する編集プロダクションに勤めていたが、2018年に参加した「南九州移住ドラフト会議」で新富町を知り、移住を決意。パートナーを引き連れ昨年9月から地域おこし協力隊に。大学で俳句を専攻、全て五七五にしたがる俳句女子。